

千里ライフサイエンス フォーラム 2025

1 月フォーラム（第 385 回）

「iPS 細胞、オルガノイド、臓器チップを 用いた感染症創薬研究」

講師：高山 和雄 先生

東京科学大学総合研究院 難治疾患研究所
人体模倣システム学分野 教授

●開催形式：

1. 会場開催

日 時：2026 年 1 月 8 日（木）18:00 ～ 19:00
（どなたでもお申込みいただければ講演に参加できます）

会 場：千里ライフサイエンスセンタービル
6 階「千里ルーム A」

2. オンデマンド配信（講演録画収録分の後日配信）

配信対象および期間：

- ・千里ライフサイエンスクラブ会員は約 2 週間
- ・一般（会員以外：要申込み）は 3 日間

●申込方法：

下記当財団ホームページか二次元バーコードの
「参加申込」からお申込み下さい。

https://www.senri-life.or.jp/event_upcoming/forum/



参加申込

千里ライフサイエンスクラブ会員とは

<https://www.senri-life.or.jp/scienceclub/>

●講演要旨：

私たち人間の体は、たくさんの臓器によって支えられています。もし、臓器を体の外で作ることができたら、病気の研究や新しい薬の開発に大きく役立ちます。そのようなことを実現するための技術として、「iPS 細胞」や「オルガノイド（別名：ミニ臓器）」が活用されています。最近では、「臓器チップ」という技術も注目を集めています。

本講演では、これらの技術を使うことで、現在どのくらい臓器の構造や機能を再現できるのかを紹介します。また、そのように人工的に作られたヒトの臓器を使って、どのように創薬研究が進められているのかもお話しします。特に、2020 年の COVID-19 のパンデミック以降、私たちの研究グループはウイルスの薬を開発する研究に力を入れてきました。

今日は、の研究の中でどのように iPS 細胞やオルガノイド、臓器チップを活用してきたのか、実際の事例を交えながら紹介します。

●講師プロフィール：

略 歴：2010 年	大阪大学薬学部 卒業
2015 年	大阪大学大学院薬学研究科 修了（薬科学博士）
2015-2018 年	大阪大学大学院薬学研究科 特任助教
2018-2020 年	大阪大学大学院薬学研究科 助教
2020-2025 年	京都大学 iPS 細胞研究所 講師
2025 年 - 現在	東京科学大学総合研究院難治疾患研究所 教授

問合せ先：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp

